

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成26年6月19日(2014.6.19)

【公開番号】特開2012-176801(P2012-176801A)

【公開日】平成24年9月13日(2012.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2012-037

【出願番号】特願2011-209623(P2011-209623)

【国際特許分類】

B 6 5 B 51/10 (2006.01)

B 6 5 B 1/30 (2006.01)

B 6 5 B 9/087 (2012.01)

【F I】

B 6 5 B 51/10 E

B 6 5 B 1/30 A

B 6 5 B 1/30 B

B 6 5 B 51/10 Y

B 6 5 B 9/08 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月22日(2014.4.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

長尺な包装シートを、長手方向に沿って 2 つ折りにした状態で、折り目を下方側に位置させて搬送する搬送部材と、

前記搬送部材で搬送する包装シートに上方側から薬剤を供給する薬剤供給部材と、

搬送されてきた前記包装シートを両側から挟み込んで自転しながら加熱することによりシールし、供給された薬剤を 1 包分ずつ包装可能とする一对のシール部材と、

前記一对のシール部材を、前記包装シートに接触する位置と、前記包装シートから離間する位置とに移動可能な状態として支持する支持部材と、
を備え、

前記シール部材は、前記包装シートの折り目とは反対側の縁部を搬送方向にシールする縦シール部と、搬送方向に所定間隔で前記包装シートを搬送方向と直交する方向にシールする横シール部とを有し、

分包動作を行っていないとき、前記シール部材を前記包装シートから離間する位置に移動させることを特徴とする薬剤分包装置。

【請求項 2】

前記シール部材は、ヒータを内蔵すると共に、軸部に前記ヒータに電気接続された電極を備え、

前記電極を介して電力を供給し、前記ヒータを発熱させる電力供給用ブラシを備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の薬剤分包装置。

【請求項 3】

前記包装シートに包装する薬剤の量が通常であるか、あるいは、少ないかを判断し、通常であると判断することにより、前記シール部材を前記包装シートに接触する位置に移動させて縦シール部で包装シートの折り目とは反対側の縁部を搬送方向にシールすると共に

、横シール部で搬送方向に所定間隔で搬送方向と直交する方向にシールする一方、少ないと判断することにより、前記横シール部によるシール位置を搬送方向に短くなるように調整する制御部をさらに備えたことを特徴とする請求項1又は2に記載の薬剤分包装置。

【請求項4】

前記各シール部材は、回転体の一端側に設けたロール状の縦シール部と、縦シール部に直交して回転体の軸心方向に延びる横シール部とを一体化した構成であり、

前記制御部は、薬剤の量が少ないと判断した場合、包装シートの搬送を停止すると共に、シール部材を前記包装シートから離間する位置に移動させて両シール部材を同期して回転させることにより横シール部による搬送方向のシール位置を調整することを特徴とする請求項3に記載の薬剤分包装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、前記課題を解決するための手段として、

薬剤分包装置を、

長尺な包装シートを、長手方向に沿って2つ折りにした状態で、折り目を下方側に位置させて搬送する搬送部材と、

前記搬送部材で搬送する包装シートに上方側から薬剤を供給する薬剤供給部材と、

搬送されてきた前記包装シートを両側から挟み込んで自転しながら加熱することによりシールし、供給された薬剤を1包分ずつ包装可能とする一对のシール部材と、

前記一对のシール部材を、前記包装シートに接触する位置と、前記包装シートから離間する位置とに移動可能な状態として支持する支持部材と、
を備え、

前記シール部材は、前記包装シートの折り目とは反対側の縁部を搬送方向にシールする縦シール部と、搬送方向に所定間隔で前記包装シートを搬送方向と直交する方向にシールする横シール部とを有し、

分包動作を行っていないとき、前記シール部材を前記包装シートから離間する位置に移動させる

構成としたものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

前記構成により、分包動作を行っていないときに、包装シートがシール部材からの熱影響を受けて溶融等の不具合を発生させることがない。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

前記シール部材は、ヒータを内蔵すると共に、軸部に前記ヒータに電気接続された電極を備え、

前記電極を介して電力を供給し、前記ヒータを発熱させる電力供給用ブラシを備えるのが好ましい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

前記包装シートに包装する薬剤の量が通常であるか、あるいは、少ないかを判断し、通常であると判断することにより、前記シール部材を前記包装シートに接触する位置に移動させて縦シール部で包装シートの折り目とは反対側の縁部を搬送方向にシールすると共に、横シール部で搬送方向に所定間隔で搬送方向と直交する方向にシールする一方、少ないと判断することにより、前記横シール部によるシール位置を搬送方向に短くなるように調整する制御部をさらに備えるのが好ましい。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

前記各シール部材は、回転体の一端側に設けたロール状の縦シール部と、縦シール部に直交して回転体の軸心方向に延びる横シール部とを一体化した構成であり、

前記制御部は、薬剤の量が少ないと判断した場合、包装シートの搬送を停止すると共に、シール部材を前記包装シートから離間する位置に移動させて両シール部材を同期して回転させることにより横シール部による搬送方向のシール位置を調整するのが好ましい。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明によれば、分包動作を行っていないときに、シール部材を前記包装シートから離間する位置に移動させるようにしているので、包装シートがシール部材からの熱影響を受けて溶融等の不具合を発生させることがない。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】